

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
220002	XYY2220002			国際学部国際文化学科 国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
		2	前期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降) 情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降) 情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度) 情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度) 情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	共通 専門 専門 共通 共通	選択 必修 必修 必修 必修	2年 2年 2年 2年 2年
情報検索	高木 義和			情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	共通	必修	2年

授業目的

情報検索の目的は、情報を収集し、入手した情報を整理・加工・分析することにより、知識を深めることだけでなく、実現可能性の高い実行計画の作成や、的確な意思決定を可能することです。

情報を収集するだけではなく集めた情報を相互の関係を把握した上で情報をまとめることにより知識構造を深めることを学ぶ。また、論理式を使ったキーワード検索の手法および、現実に流通している情報の信頼性を見極める態度を習得する。英語情報を含めたWeb情報検索の効果的な利用方法だけではなく、Web情報利用の問題点とその対応についても理解を深める。授業全体を通して体系的な情報収集能力と、情報活用能力の向上をめざします。

その結果として、効率的で効果的な経済活動や、健全な企業経営のために、情報を使いこなすことのできる知識と技術を習得することを目的とする。

各回毎の授業内容

第1回

【授】Web情報の検索1
・情報収集と情報利用環境
【前・後】【事前】HPから教科書をダウンロードするかプリントアウトし概要を把握する。(2時間)
【事後】現在の個人の情報検索利用環境をWebページからUPする。(2時間)

第2回

【授】Web情報の検索2
・情報検索課題の設定と検索エンジンを使った検索式の作成
・Web情報検索
【前・後】【事前】Web情報検索(P27-37)の項を予習する(2時間)・【事後】Web情報検索課題を決め、予備検索を行って使用するキーワードを選択する(2時間)

第3回

【授】Web情報の検索3
・日本語Web情報の検索
【前・後】【事前】Web情報検索(P27-33)の項を予習する(2時間)・【事後】使用する日本語検索エンジンを決めWeb情報の検索に着手する。(2時間)

第4回

【授】Web情報の検索4
・英語Web情報の検索
【前・後】【事前】英語Web情報検索(P27-33)の項を予習する。(2時間)・【事後】使用する英語検索エンジンを決めWeb情報の検索に着手する。(2時間)

第5回

【授】Web情報の検索5
・Web情報の特徴と信頼性
・複数情報のまとめ方
・Web情報検索のレポート確認
【前・後】【事前】4回目までに収集した情報をまとめ。(2時間)・【事後】Web情報検索課題の内容をまとめUPする。(2時間)

第6回

【授】図書・雑誌記事情報の検索1
・情報源と情報の種類
・Web情報の特徴
・図書雑誌記事情報課題の設定
・図書雑誌記事情報検索
【前・後】【事前】情報源と情報の種類(P18-22)の項を予習する。(2時間)・【事後】図書・雑誌記事情報の検索課題を決め雑誌図書情報の予備検索に着手する。(2時間)

第7回

【授】図書・雑誌記事情報の検索2
・図書情報の検索
【前・後】【事前】図書検索(P48-52)の項を予習する(2時間)・【事後】図書情報検索に着手する。(2時間)

第8回

【授】図書・雑誌記事情報の検索3
・雑誌記事情報の検索とCiniiの利用
・論理演算と検索式
【前・後】【事前】雑誌記事検索(P54-60)の項を予習する(2時間)・【事後】図書情報検索と同じ検索課題で、雑誌記事とCiniiの検索に着手する。試行錯誤を繰り返し検索式を決定する。(2時間)

第9回

【授】図書・雑誌記事情報の検索4
・キーワードの概念と論理式(and or not)
・図書雑誌記事検索のレポート内容確認
【前・後】【事前】検索式(P10-14)の項を予習する。(2時間)・【事後】図書・雑誌記事情報検索を実行しレポートの内容をまとめUPする。(2時間)

第10回

【授】複合情報検索による体系的な情報収集1(情報源)
・情報源の体系的利用
・複合情報検索
・グループ分けと課題の決定
【前・後】【事前】情報源の体系的利用(P18-22)の項を予習する。(2時間)・複合情報検索(P88-91)の理解、グループ課題と分担の決定。(2時間)

第11回

【授】複合情報検索による体系的な情報収集2(文献記事情報)
・EbscoHostの利用
【前・後】【事前】EbscoHost(P63-64)、複合情報検索(P89-93)の再確認(2時間)・【事後】グループで課題・分担・実行予定・連絡方法を決め雑誌記事検索に着手する。(2時間)

第12回

【授】複合情報検索による体系的な情報収集3(新聞記事情報)
・朝日新聞の記事検索
・日本経済新聞の記事検索
・新潟日報の記事検索
【前・後】【事前】新聞記事情報検索(P38-44)の項を予習しておく。(2時間)・【事後】新聞記事検索に検索に着手する。(2時間)

第13回

【授】複合情報検索による体系的な情報収集4(遡及情報検索と書誌事項の利用)
・遡及情報検索
・書誌事項の利用
・複数情報のまとめ
【前・後】【事前】書誌事項(P1-9)、遡及情報検索(P80-81)、予習する。(2時間)・【事後】新聞記事情報20件のまとめ。(2時間)

第14回

【授】複合情報検索による体系的な情報収集5
・収集した情報の共有と全体としてのまとめ
・複合情報検索レポートのレポート内容確認
【前・後】【事前】情報源の体系的利用(P18-22)、複合情報検索(P89-93)の項を再確認する。(2時間)・【事後】複合情報検索課題を実行しレポートの内容をまとめUPする。(2時間)

第15回

【授】まとめ
・情報検索に関する重要な視点と学内におけるDBの利用
・総括ページへの書き込み
【前・後】【事前】情報検索の留意点(P68-71)の項を確認する。(2時間)・【事後】総括ページ(レポート提出確認ページ)への書き込み。(2時間)

第16回

【授】試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							25
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							75
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

インターネット情報の検索、図書・雑誌記事情報の検索、複合情報検索のレポート(75%)と定期試験(25%)により評価する。

授業内レポートのフィードバックの方法は個人情報を削除した見本となるレポートの紹介とレポート全体の講評により行う。

教科書参考書

教科書をpdfファイルで配布する(プリントアウトするかモバイル端末で閲覧してください)。
授業では日常使用しているWeb情報の検索エンジンに加えて、実社会で使用されている新聞記事情報、雑誌記事・学術論文情報を検索できる有料のデータベースを使用する。

受講に当たっての留意事項

レポートの検索課題は個人毎に異なった課題で実行し、レポートはWebページからUP(提出)します。教科書とレポート提出ページの指示が異なる場合は提出ページの指示を優先する。この授業で学ぶ内容を理解できれば個人の情報活用能力が大きく向上することが期待できます。有料のデータベースを使用するため情報およびDBの著作権に注意を払ってください。指示に従わないレポートは提出されても評価しない場合があります。過去の他の人のレポートを50%以上コピーしたことが判明した場合は0評価とします。

学習到達目標

検索主題を検索式で表現できるようになる。

20%

W e b 情報の特性を理解しその情報を利用することができる。 20%

図書・雑誌記事情報の特性を理解しその情報を利用することができる。 20%

複合的に情報源を利用できる。

情報の信頼性という概念が理解できる。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

20%

20%

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習